

## 役に立たない学問などない



法学部長

はしもと もとひろ  
橋本 基弘

卒業生の諸君。おめでとう。諸君が今日を迎えられるにはご両親を始めとする多くの人の協力があったことにまず感謝してほしい。

諸君にとって大学生活はどうであつただろうか。自分の学生時代はこれだと言えるものがひとつはあつただろうか。がむしやりに自分を燃焼させることはできただろうか。生涯の友はできたであろうか。

大学を卒業するというのは小中高等学校を卒業するのとは意味が違う。大学進学率がどれほど上がるかと大学を卒業することには重みがあるのである。それはなぜか。諸君は4年間様々な義務から解放されて自由にものを考え、自由に議論することもできたはずだ。大学とは自由であることのレッスンをする場である。利害得失から離れて原理原則でものごとを考える場所である。世の中にある様々なしがらみから解放されて物事を考えることを *deliberation* とい

う。熟慮するとはしがらみから自由に物事を考えることでもある。大学は諸君に *deliberation* の時間を与えてきた。これが何十年後に生きてくる。

卒業に当たり、諸君に二つのことを伝えたい。第一に大学を卒業するということは学問を修めたことを意味しない。大学を卒業するということは学問の仕方を学んだということつまりものの考え方を学んだということを意味するに過ぎない。第二に大学の学問は社会では役に立たないなどと思つてはならない。そのようなことを公言してはばからない者は役に立つようなかたちで学問をしてこなかった輩である。諸君が懸命に考え、論じ合い、書き残したものは必ず君たちの血肉となつて将来を支えるであろう。

諸君が旅立つた後のキャンパスはさびしい。諸君と過ごした講義やゼミの時間を思い出す。しかし、またいつか会おう。出会えたことに感謝したい。

## 卒業おめでとうございます



経済学部長

せきの みつお  
関野 満夫

経済学部卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

多くの方はこの4月から実社会に進んで、社会人としての一步を踏み出すことになると思います。その一方で、昨今の雇用情勢の悪化から、就職活動の継続を余儀なくされる方もいるかもしれません。いずれにせよ、大学卒業を機に新しい人生のステージに立つことになりました。経済学部の教職員一同はみなさんの活躍を期待しております。

経済学部を卒業するということは、学士（経済学）の称号を授与されるということですが、今後、みなさんは周囲から経済学士としての実力を備えているとみなされます。その心構えはできているでしょうか。経済学部で4年間学ぶことによつて、みな

さんは経済学の一定の体系的知識を身につけたことでしょうか。と同時に重要なことは、授業やゼミ活動などを通じて、様々な应用能力や総合的判断能力を養つてきたはずで、学士に期待されるのは、この知識と総合的な応用判断能力なのです。

日本および世界の経済現象や社会現象は日々変化しており、大学で学んだ知識だけでは今後十分に対処できないこともあるかもしれません。その意味では、卒業で勉強から解放されると思ふのではなく、卒業後も読書や教養の機会を活用して、知識と知的能力を不断に深めるよう努力してください。

最後に、今後とも健康に留意して、少しのことにくじけず、前向きに人生を歩んでいかれることを期待して、贈る言葉とさせていただきます。